

第1回南富山駅周辺まちづくり関係者協議会 資料

(1)これまでの経緯

1947年(昭和22年)の航空写真



1969年(昭和44年)の航空写真



1980年(昭和55年)の航空写真



高度経済成長期の人口増加やモータリゼーションの進展などの影響を受けながら、市街地が徐々に拡大し、自動車中心のまちが形成

2008年(平成20年)「富山市都市マスタープラン」の策定



南富山駅周辺を富山南部地域の地域生活拠点に位置付け

2015年(平成27年) 南富山を対象に「まちの活性化・都市デザイン競技」を実施し、南富山駅周辺の将来像に対する様々な提案が行われる(左図)

2016年(平成28年)「南富山まちづくりを考える会」が発足され、2019年(令和元年)にまちづくりのコンセプトを掲げる(右図)

道路空間等を活用した社会実験や、民有地を活用した販わい創出に向けた取り組みなど、様々な活動を実施



国交大臣賞(株式会社 日建設計シビル・株式会社 日建設計)

- 人、車、公共交通が調和する“まち”
- 青春の思い出を語りたくなる“まち”
- 安全に暮らし、皆にやさしい“まち”



あつまる はぐくむ ひろがる 南富山

南富山まちづくりを考える会「まちづくりのコンセプト」

# 第1回南富山駅周辺まちづくり関係者協議会 資料

## (2)現状分析

### ■人口

他駅と比べて、一定の転入を確保しながら、優位な拠点性がある

- 人口ボリュームでは、南富山駅周辺が圧倒的に多く、呉羽駅や稲荷町駅と比べて、高齢化率や児童数などで優位
- 南富山周辺は緩やかな減少であったが、R1以降は増加に転じ、東富山駅では東口改札の新設に伴う宅地造成により、人口が急増
- 呉羽駅でも造成が進められ、今後増加していく見込み

表1 各駅から500m圏域の人口 (人)

	南富山駅	呉羽駅	東富山駅	稲荷町駅
R4人口	3,816	1,534	1,671	2,918

図1 各駅から500m圏域の年齢3区分人口割合

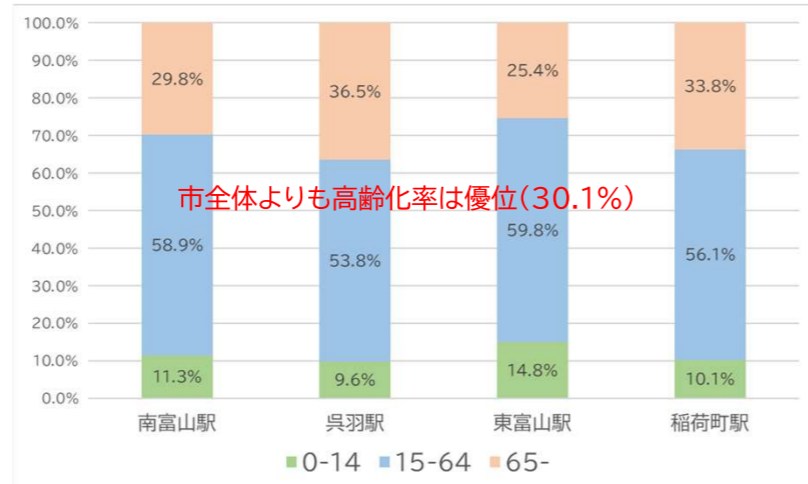
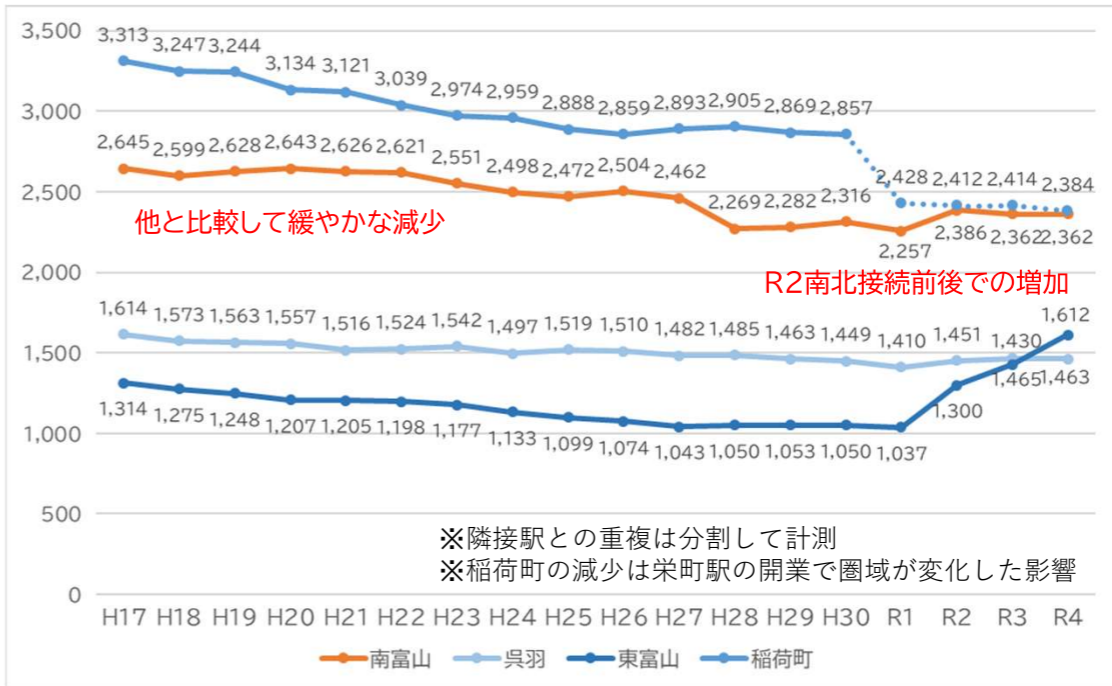


図2 富山市が掲げる公共交通が便利な地域に居住する人口推移 (人)



### ■公共交通

多様な公共交通が接続するハブ機能を有し、駅利用者数は市内3位

- 市内駅では富山駅、電鉄富山駅に次ぐ利用者数を誇っている。
- 他の拠点駅と比べると、多様な公共交通が接続しており、乗降客数の推移も、新型コロナによる減少を除き、H27以降、増加傾向で推移

表2 市内駅の乗降客ランキング(R3) (人/日)

	富山駅	電鉄富山駅	南富山駅	富山大学前	東富山
乗降客数	37,378	8,179	3,415	2,835	2,740

図3 各駅に接続する公共交通系統数 (方面数)

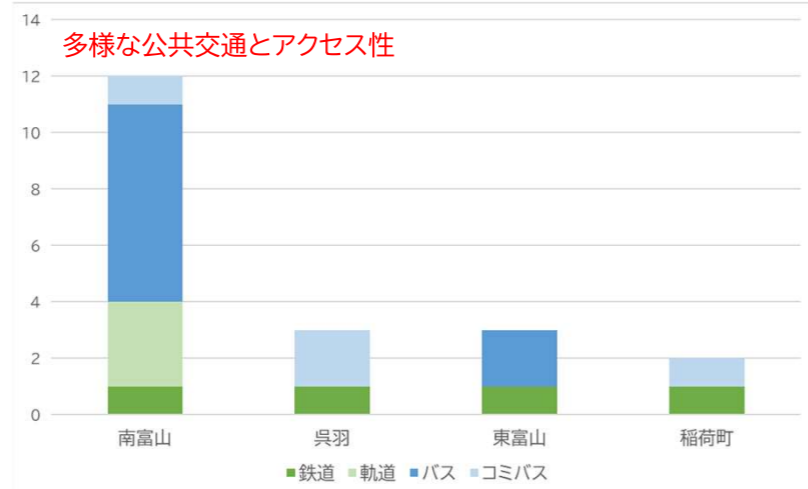
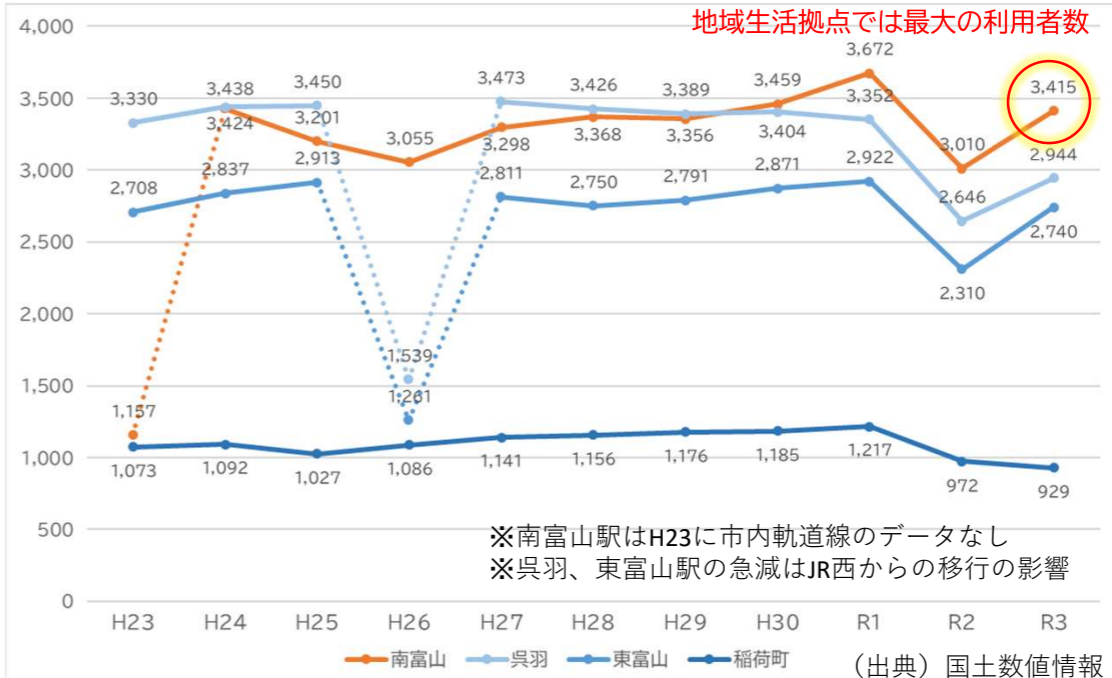


図4 各駅の乗降客数推移 (人/日)



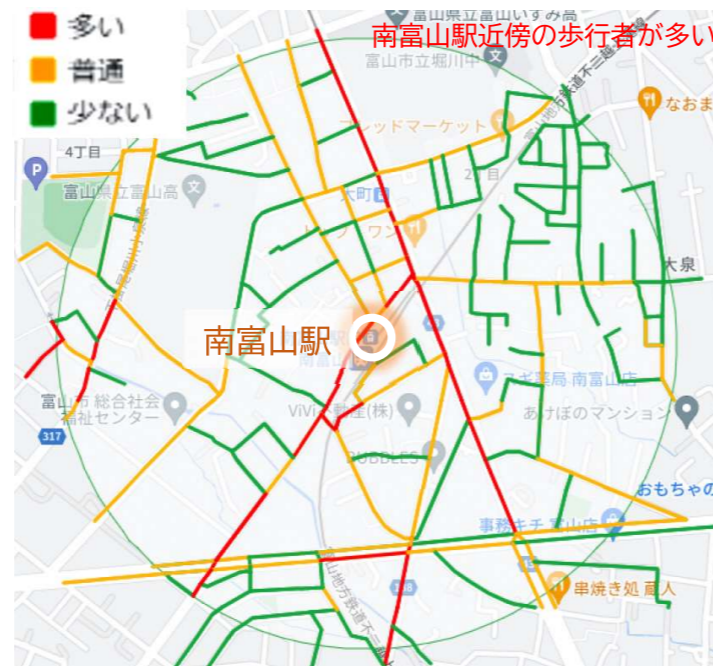
(2)現状分析

■道路交通

歩行者の安全性が保たれておらず、住宅地内では狭い道路が存置

- ・南富山駅へアクセスしようとする歩行者が多い
- ・一方で、南富山駅前では、通過交通が多く、朝夕の時間帯は送迎車両も混ざり合い、煩雑になっている
- ・住宅地内では狭い道路が多く、安全面などに支障がある

図5 南富山駅周辺における歩行者の状況



(出典) KDDI Location Analyzer

※GPS位置情報ビッグデータによる推計値で20歳以上のみ

■滞留

南富山近隣の利用が多いものの、平日日中の滞在には繋がっていない

- ・祝休日の日中は、来街者が一定程度、滞在しているが、平日は朝夕の通勤、通学時間帯を除いて、滞在者が減少
- ・最も多いのは大山（中滝）からだが、それ以外をみると、堀川町や今泉、大町などの南富山駅周辺の方の来訪が大半

図7 平日・祝休日別における滞留の状況

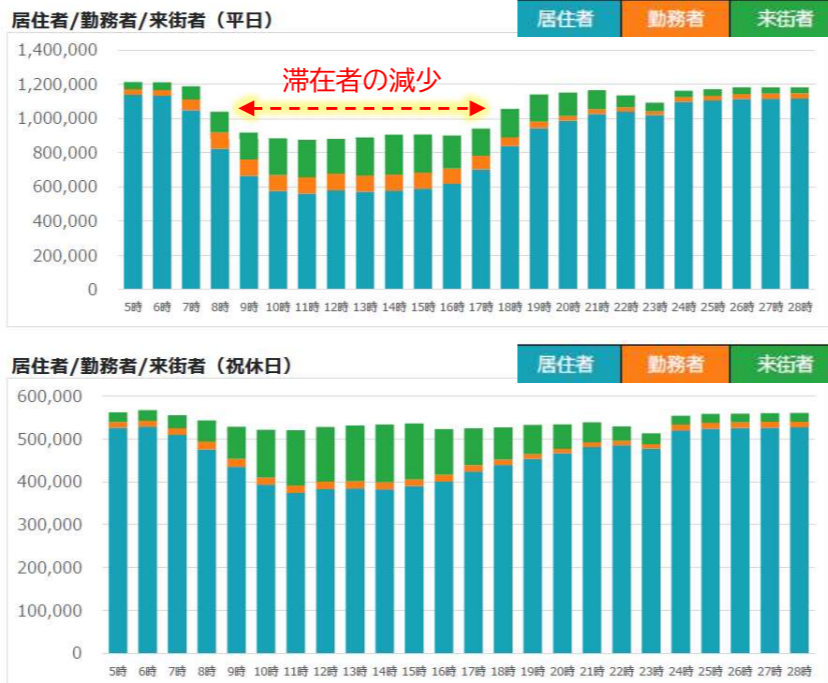


図6 南富山駅における自動車通行量と現地写真

平日：約 5,700 台 /18h (5:00～23:00)

通過交通 93% (約 5,300 台)

送迎車両 7% (約 400 台)

9割以上が南富山駅に用のない通過交通で、朝夕は送迎で混雑

休日：約 4,500 台 /18h (5:00～23:00)

通過交通 96% (約 4,300 台)

送迎車両 4% (約 200 台)

(出典) 南富山まちづくりを考える会資料



住宅地の中には4m未満の接道要件を満たさない道路が存在

図8 居住地別にみた南富山駅来訪者の状況

南富山駅周辺地域からの来訪が主体



(出典) KDDI Location Analyzer

※GPS位置情報ビッグデータによる推計値で20歳以上のみ

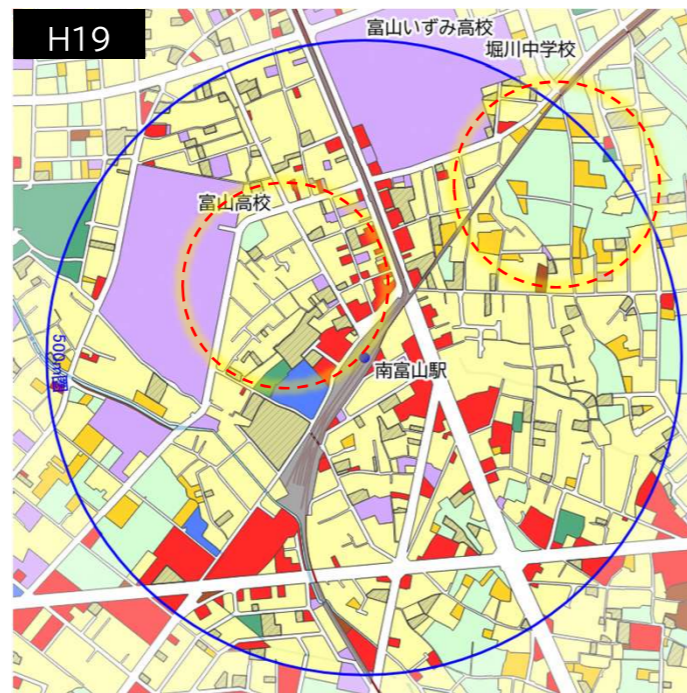
(2)現状分析

■土地利用

農地が宅地に変化し、住宅用地が増加する一方で、空地も増加

- ・大泉(1区南部)の宅地化等により、田畑が4.0ha減少しており、住宅用地が1.2ha、道路用地が0.6ha増加
- ・一方で、その他の空地（低未利用地）が0.9ha増えている
- ・それ以外に土地利用の大きな動きは見られない。

図9 南富山駅から500m圏域における土地利用の変化



<凡例及び面積増減>

用途	面積(ha)		
	H19	H30	増減
田	6.4	3.0	-3.5
畑	2.1	1.5	-0.5
山林	0.0	0.0	0.0
水面	0.3	0.5	0.3
その他の自然地	0.2	0.4	0.2
住宅用地	33.3	34.5	1.2
商業用地	5.6	6.0	0.4
工業用地	0.6	0.5	-0.1
農林漁業施設用地	0.0	0.3	0.3
道路用地	12.2	12.9	0.6
公益施設用地	11.2	11.2	0.0
交通施設用地	1.9	2.0	0.1
公共空地	0.8	0.8	0.1
その他の空地	4.0	4.9	0.9
合計	78.5	78.5	-12.2

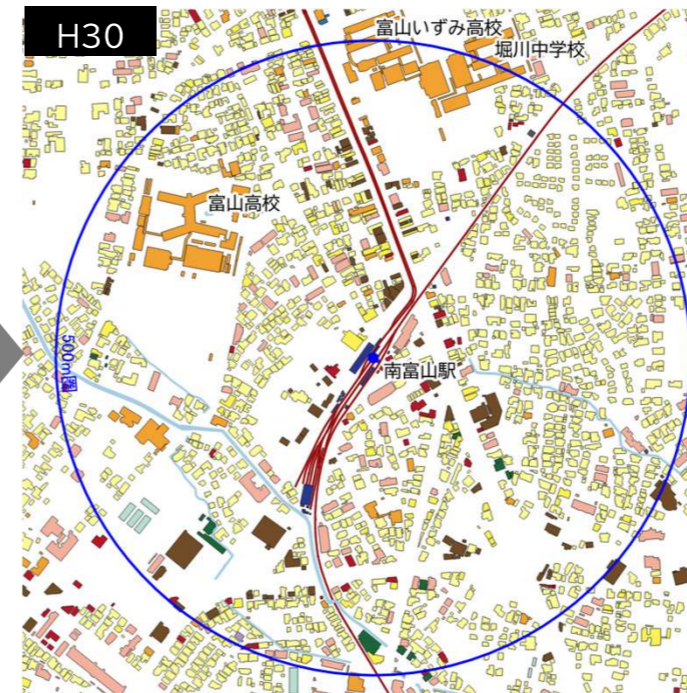
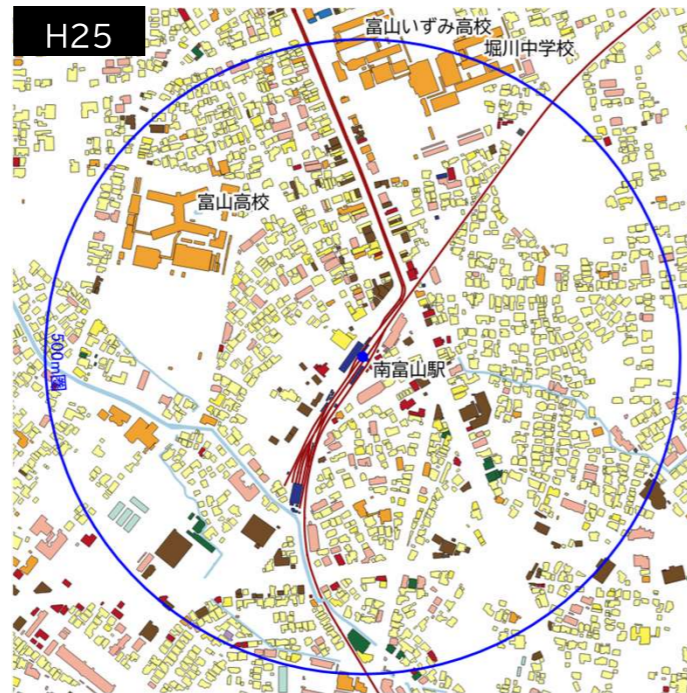
(出典) 都市計画基礎調査

■建物利用

文教施設が多く、住宅ニーズの高さは見えるが、他用途は停滞している

- ・建物については住宅が0.83ha増えている他は、大きな動きは見られない。

図10 南富山駅から500m圏域における建物利用の変化



文教エリアで、住宅が多い

<凡例及び面積増減>

用途	延床面積(ha)		
	H25	H30	増減
業務施設	0.83	0.79	-0.04
商業施設	2.98	2.97	-0.01
住宅	19.75	20.58	0.83
共同住宅	5.12	4.93	-0.19
店舗等併用住宅	1.84	1.84	0.00
店舗等併用共同住宅	0.71	0.71	0.00
文教厚生施設	7.57	7.51	-0.07
運輸倉庫施設	0.30	0.28	-0.01
工場	0.45	0.41	-0.04
農林漁業施設	0.12	0.12	0.00
合計	39.70	40.17	0.47

(出典) 都市計画基礎調査

(2)現状分析

■地域連携・情報発信

南富山界隈を盛り上げる、関心を高める動きが民主導で進められる

- ・考える会のこれまでの活動を母体にした連携事業や発信が行われている。
- ・また、南富山周辺の建物所有者の横のつながりにより、南富山界隈に関心のある建築家やデザイナーが協働した新たな動きも始まる。

図11 教育機関との連携

■富山いずみ高校での総合的探究学習

「南富山まちづくりを考える会」と「富山いずみ高校」の協働による総合的探究学習の実施。商店街のパン屋をツールとした地域活性や駅前広場の交通問題、定期開催のイベント企画・運営など、考える会が取り組む活動を基にした地域内連携が進められている。



図12 空間利活用の動き

■「Bar hug-chig」

建物所有者と建築家、デザイナーによるバー企画

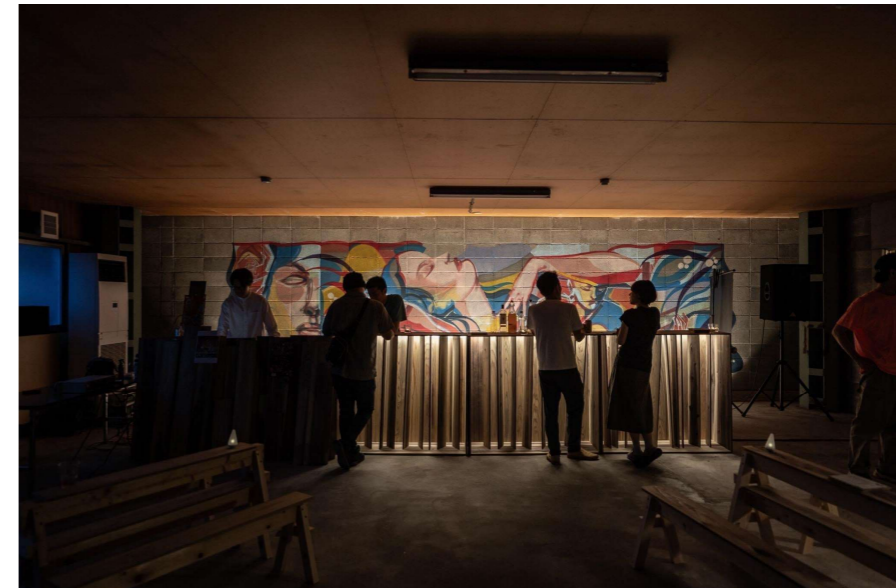


図13 考える会発行によるニュースレター



図14 南富山駅のヒト・モノ・コトを紹介するメディア「ハグちぐ hug-chig」

**ハグちぐ**  
hug-chig

Top  
Event  
Project  
Magazine  
About  
Contact

”ちぐはぐ”をハグして  
一緒に枠を飛び越えよう

まちを見渡すと、  
古くから使われてきた駅舎や  
新旧のお店が並ぶ商店街、  
海と山をつなぐ路面電車、  
徒歩圏内に集まる小中高校...

さまざまなヒト・モノ・コトが集まるこのまちは、  
多彩でありながら、どこか”ちぐはぐ”だ。

About hug-chig...

**ハグちぐ**  
hug-chig

『ハグちぐ』は、南富山周辺のヒト・モノ・コトを紹介するメディアです。

これから「何かしたい！」と思う人が参加できるイベント・プロジェクト情報のほか、これまでに挑戦や試行錯誤を重ねてきた人たちのインタビュー記事なども読むことができます。

コンセプトは「”ちぐはぐ”をハグして、一緒に枠を飛び越えよう！」。

様々な世代が集まる南富山を起点に、それぞれが持つ「色」と、それらが組み合わせることによって起きる「化学反応」にスポットライトを当てて紹介していきます。

(2)現状分析

■現状分析を踏まえた整理

南富山駅周辺の“強み”

- 市内の地域生活拠点の中では、**最も高い拠点性**を誇り、人口・公共交通利用者ともに有数である。
- 教育機関の多い文教地区で、公共交通の近接性などから、**居住ニーズも高い。**
- 継続的なまちづくり活動が行われている市内唯一のエリアで、新たな動きも含めた**多彩なプレイヤー**が存在する。
- 交通広場やアーケードなどの**他にはない都市施設**を有している。

南富山駅周辺の“弱み”

- 通過交通が多く、**歩行者の安全性**が保たれていない。
- 地域内居住者の利用が多くを占めるが、平日の日中は滞在者が少なく、**目的地となっていない。**
- 空き家や低未利用地、狭い道路などが残されたままの住宅地**がある。
- 住宅以外の建物利用が停滞傾向となっており、**拠点性の高さが活かしきれていない。**

南富山駅周辺に影響を与える“外部要因”

- 南富山駅舎やアーケードなどの老朽化
- 地鉄不二越・上滝線への乗り入れ検討やコミュニティバスの運行などの公共交通網の動き
- 新型コロナの感染拡大による経済活動の縮小
- デジタルやテレワークの進展、シェアリング（モノなどの共有化）、2拠点生活などの新たな暮らし方への変化 など

■現状からみた課題

課題① 市内3位の乗降客を受け入れる**交通結節力がない**

現状

- ①通過交通や送迎の多さに駅前広場や道路が対応できていません。
- ②自動車と歩行者の交通動線が錯綜しています。

課題③ 居住ニーズに応えられない**脆弱な住環境が存在**

現状

- ①居住ニーズは高い地域ですが、空き家や空き地が目立ってきています。
- ②狭い道が多く、再建築などが困難で、防災上の課題も残されています。

課題② 多様な世代や地域特性を活かした**拠点機能が不十分**

現状

- ①文教施設が多く、児童や学生が多く利用しています。
- ②駅前広場や公園、アーケードなどの都市空間が活かしきれていません。

課題④ ひとが訪れ、滞留したくなる**居場所や雰囲気づくり**

現状

- ①平日の日中など、居住者や駅利用者が滞在していません。
- ②まちづくり団体や新たなプレイヤーによる魅力的な活動が生まれています。

(3)将来ビジョンについて ~ビジョンの概観~

■(仮称)南富山駅周辺まちづくりビジョンの基本的な考え方

南富山駅周辺の10年後の未来に向けて、地域特性を活かした**活力と魅力あるまちへ再編するための方向性**を示すものであり、また、より豊かな“南富山らしい”まちの姿を**多様なひとや関係者同士が共有するための指針**として策定するもの

■課題を踏まえ、ビジョンで示すべき要素

- 要素1：駅前広場などをはじめとする**交通機能や都市基盤の強化**
- 要素2：住みたい・住み続けたい居住エリアとなる**住環境の改善**
- 要素3：“地域らしさ”が活かされた**都市空間と建物づくり**
- 要素4：新たなプレイヤーも含めた**持続的な活動と運営体制の構築**

■ビジョン策定に向けた“基本ルール”

- 要素1：駅前広場などをはじめとする**交通機能や都市基盤の強化**  
⇒**駅を中心とした使いやすい公共空間がイメージできる**
- 要素2：住みたい・住み続けたい居住エリアとなる**住環境の改善**  
⇒**将来も駅周辺で暮らすことの価値や豊かさが感じられる**
- 要素3：“地域らしさ”が活かされた**都市空間と建物づくり**  
⇒**まちの持続可能性を高める事業を想起させる**
- 要素4：新たなプレイヤーも含めた**持続的な活動と運営体制の構築**  
⇒**まちに関わるひとやコトを増やすための段階的な進め方が分かる**

【参考】市におけるビジョンの位置づけ

市の上位計画との整合を図りつつ、令和8年度からはじまる次期都市マスタープラン（全市的なまちづくりの基本方針を示すもの）を意識しながら、ビジョンの策定を進める。

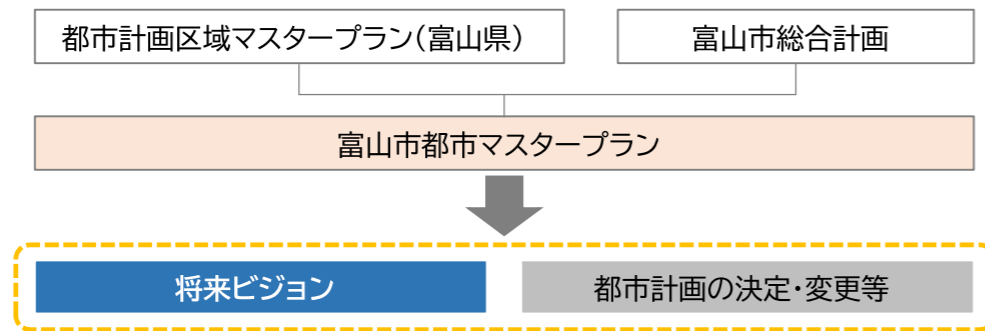


表 他都市における参考事例一覧

No	名称	自治体名称 策定年度	背景・目的	計画期間
1	三軒茶屋駅周辺まちづくり基本方針	東京都 世田谷区 H31年3月	市街地再開発事業によるまちづくりとともに駅周辺の区民・事業者・区の連携	20年
2	柏セントラル駅まちビジョン	千葉県 柏市 R4年3月	柏セントラルグランドデザイン(柏駅周辺基本構想)における、「駅前拠点ゾーン」の理想的なハード整備の実現	20年
3	椎名町駅北口周辺地区まちづくりビジョン	東京都 豊島区 R4年9月	補助172号線沿道長崎地区地区計画(H28.3)の実現	記載なし
4	東村山駅周辺まちづくり実行プラン	東京都 東村山市 R4年3月	連続立体交差事業等とあわせた課題解決	記載なし
5	春日部市中心市街地まちづくり計画	埼玉県 春日部市 R3年3月	連続立体交差事業をきっかけとし、公民学が連携し、お互いの役割を補完する公民連携+学によるまちづくり	概ね5年ごとに見直しを検討

(3)将来ビジョンについて ～他都市のビジョン事例～

**東京都世田谷区  
三軒茶屋駅周辺まちづくり基本方針**

**対象エリア** 三軒茶屋交差点を中心とした半径300m以内

**ビジョン実現に向けた方針**

**方針1：「つたえる」（まちの個性を継承・強化する）**  
三軒茶屋らしい空間やバランス、多世代を集める文化・歴史を継承していくとともに、まちづくりにおける様々な主体との連携や交流を促進しコミュニティの強化を図る。



**方針2：「つなげる」（まちを支えつなぐ）**  
交通結節点の形成と多様な空間の創出によりまちの南北の分断を解消し、回遊性を高める。加えて、災害発生時に倒壊や火災発生のある建物を減らしていくとともに、平常時から防災体制の強化に取組み、ハード・ソフトの両面において駅周辺の安全性・防災性を確保する。



**方針3：「はぐくむ」（魅力を育て機能を高める）**  
三軒茶屋駅周辺における新しい働き方やライフスタイル、文化・観光などの魅力を育て、発信する。さらに、まちとして進化し続けるため、利便性の高い駅前の機能をバランスよく高めていく。



**取組キーワード**

交通	・シームレスな交通結節点 ・バリアフリーの歩行動線を確保
住環境	・まちの防災性を向上 ・職住近接を推進 ・みどりある空間を創出 ・小さな店舗と住居が共存
地域活性	・新しいパブリックスペースを創出 ・界わい文化を継承 ・活動・交流できる場づくり

**千葉県柏市  
柏セントラル駅まちビジョン**

**対象エリア** 柏駅から概ね半径500m以内

**3つのポイントと期待できるメリット**

**POINT 1 「面的まちづくり」の推進**  
建物の機能更新や公共空間の拡充のために、再開発や共同化を推進します。



**POINT 2 「駅～まちのネットワーク」の構築【P8を参照】**  
にぎわいを広げていくために、駅とまちを安全で快適な歩行者空間でつないでいきます。



**POINT 3 「まちの共用部」の創出【P9を参照】**  
人々の活動や交流を活性化するために、パブリックスペースを充実させていきます。



**取組キーワード**

交通	・デッキやエスカレーター・エレベーター ・屋根付きの歩行者空間 ・建物低層部に店舗などを連続
住環境	・再開発や共同化を推進
地域活性	・憩い・にぎわい・移動・発信 ・パブリックスペース

**東京都豊島区  
椎名町駅北口周辺地区まちづくりビジョン**

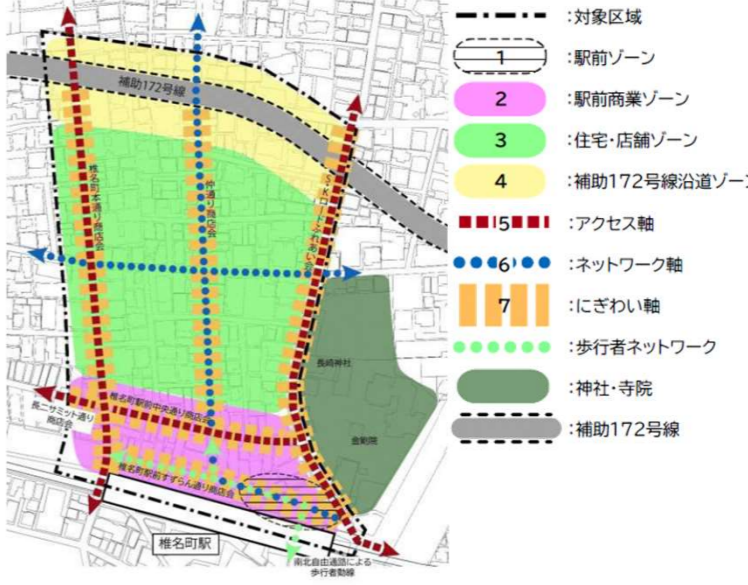
**対象エリア** 椎名町駅北口周辺約0.08km<sup>2</sup>

**取組方針**

**方針1** 多世代が安全・安心、快適に暮らし続けられるまちの形成

**方針2** 池袋の一つ目小町として、個性とにぎわいのあるまちの形成

**方針3** 駅前にふさわしい生活拠点の形成



**取組キーワード**

交通	・狭あい道路の拡幅
住環境	・老朽建築物の除却 ・個別建替えや共同化 ・面的な整備を検討
地域活性	・商店街の魅力と雰囲気維持 ・駅前の木造住宅密集地域を改善



# 第1回南富山駅周辺まちづくり関係者協議会 資料

## (4)実施体制及びスケジュール(案)について

### ■実施体制と役割

#### 1) 南富山駅周辺まちづくり関係者協議会

南富山周辺の関係者ととも、課題や情報を共有しながら、意見交換を行う場

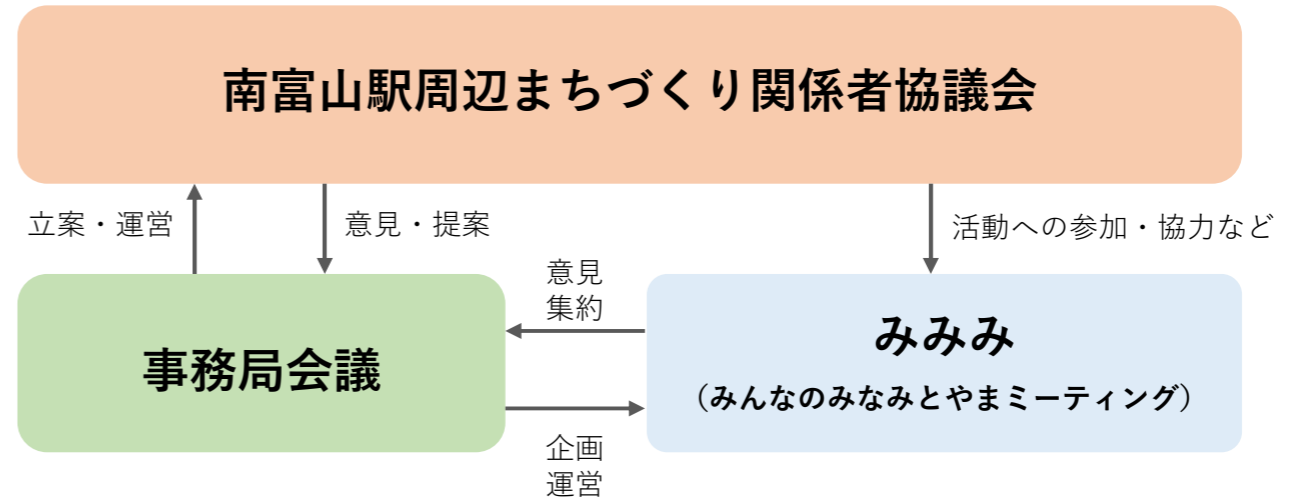
#### 2) みみみ (みんなのみなみやまミ(み)ーティング)

周辺住民や駅利用者などとの対話を行う場  
(多様なアイデアやありたい姿を様々な形式で集約化)

#### 3) 事務局会議

協議プロセスを支え、多様な意見や考えのとりまとめを行う場  
【構成】富山市、真野研究室、UR都市機構、市民や関係者の有志

図15 関係図



### ■スケジュール案

